大阪教育大学　ボランティア募集登録票

□該当する項目にチェックしてください

	□公共機関　☑教育機関　□社会福祉法人　□NPO法人　□その他（　　）			
（ﾌﾘｶﾞﾅ）	ｽｲﾀｼﾘﾂﾊｸﾌﾞﾂｶﾝ「ﾑｶｼﾉｸﾗｼﾄｶﾞｯｺｳ」ﾃﾝﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾉｶｲ			
団　体　名	吹田市立博物館「むかしのくらしと学校」展ボランティアの会			
住　　所（本部）	〒　564　－　1 大阪府吹田市岸部北４－１０－１　吹田市立博物館（事務局）			
連　絡　先	TEL	06－6338－5500		
	FAX	06－6338－9886		
	E-mail	ckaxj800@sutv.zaq.ne.jp		
	URL	https://www.city.suita.osaka.jp › museum › index.html		
代　表　者　名	笠井一司		担当部署名	吹田市立博物館　学校連携担当
団体の活動分野	□高齢者　□障がい者　☑子ども・青少年（学校・児童相談・キャンプ）　□祭り・イベント □環境　□国際交流　□スポーツ　□その他（　　）			
募集タイトル	「むかしのくらしと学校」展ボランティア　募集			
ボランティアの活動内容	吹田市立博物館で毎年12月～3月の期間に「むかしのくらしと学校」展を開催しています。この間に吹田市内の小学３年生が団体見学で来館した際の学習支援をボランティアの皆さんの協力により進めています。児童とのコミュニケーションを通じて、むかしのくらし体験活動や市の様子のうつりかわりについて学習を進めていきます。 ☑単発ボランティア　□継続ボランティア			
活　動　日　時	2027年1月8日　～　2027年3月20日　【 1～数 】日間			
活　動　場　所	吹田市立博物館			
交　通　経　路	ＪＲ　線　岸辺　駅より ☑徒歩　☑バス　□その他（　　）　（　30　）分			
事前説明会	☑あり　＜日時＞　2026年12月9日　13 時から　＜場所＞　吹田市立博物館 □なし			
ボランティア保険の加入	☑あり　□なし		参加費	□あり　☑なし
交通費の支給	□あり　（　　）　☑なし		食事の提供	□あり　☑なし
募　集　定　員	□あり　☑なし		募集締切日	☑あり（ 2027年2月28日 ）まで　□なし

「ボランティア情報の取り扱いに関する方針」記載内容について了承しました。

申請日　2026年9月10日　ご署名　笠井一司

【本学記入欄】

備考欄	記入日	令和　年　月　日
	処理日	令和　年　月　日

ボランティアの皆さんの活動を終えての感想です。

子供達の歓声や楽しそうな様子に触れたこと、また、ボランティア学生の方たちと一緒に活動できて元気をもらい、次年度も頑張ろうと思いました。

新しいボランティアの方も増え、新しい出会いもあり楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。

終わりの会で、一生懸命に練習を積み重ねた歌を披露してもらい、とても癒やされました。ありがとうございました。

子供達が展示や体験を楽しんでいる様子を見ることができ、また、活動も回を重ねるごとに丁寧に説明していくことができました。とてもいい経験になりました。　　（大学生ボランティア）

子供達の知識や発想に驚かされる場面もありました。学校では自ら学び、自ら考える授業へアップデート！ 見学に来た子供達にどう見学してもらい、どう理解してもらっていいのか葛藤しています。



今年度もボランティア活動に参加できて嬉しかったです。ありがとうございました。他のボランティアの皆様と一緒に活動することで、チームワークの重要性を改めて痛感、学ばせていただきました。

★団体見学終了後には、子供達から「ありがとう」の言葉もあり笑顔になれます。

様々な体験活動がいっぱいの「むかしのくらしと学校」展で
子供達と一緒に “ワクワク！ ドキドキ！” してみませんか？
皆さんのご応募をお待ちしています。　　**むかしのくらしと学校展ボランティアの会**

ボランティアの会　「むかしのくらしと学校」展の実施に向け、会議（月１回程度）や研修を行っています。
※会議への参加は任意です。小学校団体見学時だけのボランティア参加も可能です。

特別企画「むかしのくらしと学校」展 ボランティア のお問い合わせ先

「むかしのくらしと学校展ボランティアの会」事務局

吹田市立博物館 SUITA CITY MUSEUM

〒564-0001　吹田市岸部北４－１０－１
TEL　06-6338-5500　　FAX　06-6338-9886
＊電話のおかけ間違いにご注意ください。
URL　https://www.city.suita.osaka.jp/museum/



【交通案内】
●ＪＲ岸辺駅下車北口より徒歩２０分
●ＪＲ吹田駅北口・阪急吹田駅から
　千里中央ゆきバス４系統「紫金山公園前」下車徒歩５分。
　五月が丘南ゆきバス（循環）「五月が丘西」下車徒歩７分。
　桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩１０分。
●ＪＲ吹田駅中央口から　桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩１０分。
●阪急南千里駅から　ＪＲ吹田駅ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩 10 分。
●お車の場合は、五月が丘方面からおまわりください。
　（吉志部神社側からは車の進入ができません。）

すいはく （吹田市立博物館）

特別企画「むかしのくらしと学校」展 ボランティア

募集

子供達の素敵な笑顔に出会える場所で
はじめよう！ ボランティア活動♪

～ 市民の方、学生さん 大歓迎です！！ ～

吹田市立博物館では、学校教育と連携して、小学3年生の社会科単元「市の様子のうつりかわり」の学習に合わせ、特別企画「むかしのくらしと学校」展を開催しています。

市民ボランティアの皆さんの協力をいただきながら、子供達は、**授業「あかりのうつりかわり」**や**「昔のくらしと学校」の体験活動**、**コミュニケーションの場（ミッション）**を通して「吹田市の様子のうつりかわり」を学習していきます。

【主な活動内容】
〇子供達が安心して体験できるよう見守ります。
〇子供達の展示物に対する興味や発見を促します。
〇くらしや学校、まちの様子のうつりかわりについて学び、その時々の人々の願いに、思いを巡らすことができるようサポートします。







◆　募集概要　◆



１２月から開催しています特別企画「むかしのくらしと学校」展を見学する小学校３年生への展示説明や簡単な質疑応答を、お手伝いいただけるボランティアを募集しています。

活動期間	**小学３年生が、団体見学で来館する１月～３月の３学期です。** **＊火曜日～金曜日（祝・祭日除く）** **＊期間中、都合のよい日にお手伝い下さい。**
活動時間	**９：３０～１２：３０　＊対応する小学校により異なります。**
対象・条件	**●１８歳以上（高校生不可）　●子供が好きな方　●体力のある方** **●ボランティアやスタッフと協力して活動できる方** **＊ボランティア登録時に研修（小学校団体見学の説明）等を受講の上、活動にご参加いただきます。**

◆　活動内容の紹介　◆



特別企画「むかしのくらしと学校」展では、授業形式や体験活動、コミュニケーションを通じた主体的な学びなど、３つの活動を通して「くらしや学校」の様子のうつりかわりを学習していきます。

□活動の場①　　授業形式「あかりのうつりかわり」



火起こしから灯明、ろうそく、ランプ、白熱灯、ＬＥＤへと「あかり」のうつりかわりを、その時々の人々の思いや願い、生活上の工夫や暮らしの知恵について、今の子供達が思いを巡らせる事ができるように、多くの体験を取り入れながら、授業を進めています。ボランティアの皆さんには、体験活動のサポート等をしていただいています。



子供達は、調べ学習だけでは分からない、明るさやけむり、臭いなどを体感しながら、学びを深めていきます。
「へぇ～！」「わっ！すごい！」と興味津々。子供達の瞳は、キラキラと輝いています。
◆学校の教室に戻って電気をつけた時、「昔の人のおかげや」とつぶやいていました。（教員アンケートより）

□活動の場②　　体験活動の場「むかしのくらしと学校」



電気やガス、水道がひかれていない昔の吹田のくらしを知ることのできる体験型の展示コーナーです。
ボランティアによる展示解説の時間を設け、その中で、むかしの子供達の家庭での役割に気づきを持たせ、その後「昔の子供にタイムスリップ」といった流れで、子供着物に着替えて、下駄や草履を履いて、活動がスタートします。



昔の食卓や台所（釜、氷冷蔵庫）など『食べる』こと、機織り体験などの『着るもの』、火打ち石などの『あかり』昔の教科書を読む『昔の学校』など、１０の体験コーナーがあり、子供達に説明しながら体験活動を進めます。
◆体験できるものが多く、非日常から学ぶことが、学習意欲の向上につながった。（教員アンケートより）

＊ボランティアの皆さんには、「団体見学ガイド」を参考に活動していただいています。

★展示コーナーも充実



明治・大正・昭和初期にかけてのむかしの生活用具や学校の学習用品のうつりかわりの展示もあり、子供達の質問に応えることもあります。





← 昔の教科書、給食

□活動の場③　　コミュニケーションの場「ミッション；市の様子のうつりかわり」



市の人口や交通の整備、公共施設の建設など、それらが大きく変わった時期（千里ﾆｭｰﾀｳﾝの開発や 70 年万国博覧会が開催された前後）に着目し、その頃と現在の人々の生活の様子を比較しながら学習する機会を設けています。



吹田のまちのうつりかわりについて、コミュニケーションをとりながら、子供達の気づきをサポートしていきます。子供達の知識や発想に驚かされる場面もあります。
◆ボランティアの皆さんとの対話により、気になったことを知ることができ、新しい発見に喜ぶ姿が見られた。（教員アンケートより）

＊ボランティアの皆さんには、「ミッション（解説例）」を参考に、子供達との対話を進めていただきます。